

WSF ■ スポンサー獲得のためのアドバイス (3)

WSF発行「パブリシティ・アンド・プロモーション・ハンドブック」より

イベントに協力してくれる企業に対しても最大のお札は、そのイベントをより多くの媒体に取りあげてもらうことです。そのためには、新聞や雑誌、TVなどのスポーツ記者とまず接触をし、味方につけることがポイントとなります。

これまで2回（7、8号）にわたりて、スポンサーの探し方や、報道関係者に配るプレスリリースの書き方などについて紹介してきました。今回は最終回ということで、試合（大会）の段取りを整えたあと、いかに記者たちにアプローチをするかについて細かく項目をあげてあります。これだけの日配り、気配りがでければ、必ずあなたの期待する成果が得られるはずです。

ただし、1回や2回で結果を出してしまった後といえるでしょう。スポーツの技術を獲得するのと同様、あなたのチームや大会のファンを作るには、時間がかかります。でも、時間を作ったものは、そう簡単には崩れないものです。

だからといって、ガッカリしないでください。あなたができることなら、一つづつやってみることです。相手を説得できるのは、スポーツを愛するあなた的情熱なのですから。

記者が来てくれなければ
こちらから押しかけよ。

単なるチーム名ではなく、そこにウイットに富んだキャッチフレーズをつけ加え、より多くの人の注意を引くようにする。これを、大きなステッカーに印刷して配るのもいいだろう。

⑩学校新聞も活用

中学校、高校、大学の学校新聞の担当者を、あなたのチームの運手に引きあわせるのも、いい考え方である。学校新聞の記事を通じて、ファンを獲得するわけだ。多くのことのものは、結構、報道陣の接待はこの要領で。

報道関係者をいかに団結させるかは、非常に重要な事柄である。試合前に、彼らにチームや試合に関する予備知識を得てもらいう機会を設定するときは、あなたのチームの強力な支持者や、VIPも一緒に招待しておくるといい。また、彼らが仕事をしやすいように、試合会場には専用の机を用意する。また、報道関係者は食べたり飲んだりするのが好きなので、予算の余裕があれば飲み物でもサービスすれば、喜ばれるだろう。もし、彼らの扱いを誤れば、彼らがあなたのイベントに協力することはないだろう。

⑪遊び心も大切
いかに話題を作り、大勢の目を引くつけかが、イベント成功のカギといえる。そのためには、賞品つきのコンテ

▲記者会見でのヒント

①スターの出場はなるべく多く

一般の人たちというのは、よく知られているスターを見るために、イベント会場まで足を運んでくるものだ。選手を取りを整えたあと、いかに記者たちにアプローチをするかについて細かく項目をあげてあります。これだけの日配り、気配りがでければ、必ずあなたの期待する成果が得られるはずです。

ただし、1回や2回で結果を出してしまった後といえるでしょう。スポーツの技術を獲得するのと同様、あなたのチームや大会のファンを作るには、時間がかかります。でも、時間を作ったものは、そう簡単には崩れないものです。

だからといって、ガッカリしないでください。あなたができることなら、一つづつやってみることです。相手を説得できるのは、スポーツを愛するあなた的情熱なのですから。

記者が来てくれなければ

こちらから押しかけよ。

心に話しかけることだ。
心に話しかけることだ。
心に話しかけることだ。

ムのユニホームを着て笑顔を作り、熱心に話しかけることだ。

WSFはこのほか

各種出版物も発行

WSF（米国女性スポーツ財團）では、ここにご紹介した「パブリシティ・アンド・プロモーション・ハンドブック」のほか、次にあげるようなパンフレットを発行し、女性スポーツの振興・発展を援助しています。

①あなたのチームのための財源作りガイド②スポーツ・スキル・コンテストの実施方法③スポーツキャンプとスクーラップのガイド④カラージャケット⑤クラブ・ガイド⑥国内スポーツ団体一覧⑦体力づくりガイド⑧スポーツ関係職業ガイド⑨働く女性向け・スポーツへのいまない。

以上のパンフレットは、この「パブリシティ・アンド・プロモーション・ハンドブック」と同様、内容が具体的でわかりやすく、いずれも素人がすぐに行けるよう、とても親切にかかれています。

入手ご希望の方は、当事務局（03-467-5211）までお問い合わせください。

⑦あなたの常備資料とは
報道関係者の注文にはいつも応えられるよう、チームに関する資料はきっとそろえておくこと。これは、とにかくいるが嫌いな人もいる。そんな記者にも、あなたのチームに対する興味を持ったらうためには、チームに関する最新の資料や写真を持って、個人的に訪ねるのもいいだろう。

スポーツ記者の中には、オフィスを離れるのが嫌いな人もいる。そんな記者にも、あなたのチームに対する興味を持つてもらいたい場合は、チームに関する最新の資料や写真を持って、個人的に訪ねるのもいいだろう。

スポート記者の中には、オフィスを離れるのが嫌いな人もいる。そんな記者にも、あなたのチームに対する興味を持つてもらいたい場合は、チームに関する最新の資料や写真を持って、個人的に訪ねるのもいいだろう。

スポート記者の中には、オフィスを離れるのが嫌いな人もいる。そんな記者にも、あなたのチームに対する興味を持つてもらいたい場合は、チームに関する最新の資料や写真を持って、個人的に訪ねるのもいいだろう。